

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	函館市						
地域内総人口（人）	262,736						
地域総面積（km ² ）	677.87						
地域の要件	人口	面積	豪雪	山村	半島	過疎	
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	平成30年4月1日
終了年月日	令和5年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

<p>「北海道ごみ処理広域化・処理施設集約化計画（令和4年7月策定）」において、「広域化・集約化が進んだブロックであり、基本的に現状の処理体制を維持する。」とされている。</p>	
確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	北海道ごみ処理広域化・処理施設集約化計画

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域	函館市全域	
プラ要件化対象事業の実施	—	
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	①全ての構成市町村で導入済
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市全てで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	函館市（函館市災害廃棄物処理計画）
未策定の構成市（策定予定時期）	なし
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		平成28年度	令和5年度	令和5年度	実績/目標
①総人口 (人)		266,139	249,493	241,184	
排出量	事業系ごみ排出量 (トン)	42,882	38,019	36,282	136%
	生活系ごみ排出量 (トン)	60,207	53,260	54,916	76%
	1人1日当たりのごみ排出量 (g/人日)	707	683	688	79%
	その他排出量 (集団回収等)	8,453	9,079	5,845	-417%
	総排出量 (トン)	111,542	100,358	97,043	130%
再生利用量	1人1日当たりの排出量 (g/人日)	1,148	1,099	1,099	100%
	総資源化量 (トン)	17,025	19,647	14,282	0%
最終処分量	総排出量に占める総資源化量の割合 (%)	15%	20%	15%	
	埋立最終処分量 (トン)	18,695	15,329	17,030	-50%
エネルギー回収量	総排出量に占める埋立最終処分量の割合 (%)	17%	15%	18%	
	年間の発電電力量 (MWh)	12,757	12,313	12,762	
特記事項		年間の熱利用量 (GJ)			
		-	-	-	

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和5年度目標		令和5年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	225,844人	87.0%	216,185人	86.7%	213,784人	88.6%
	農業集落排水施設等	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%
	合併処理浄化槽等	3,405人	1.3%	4,161人	1.7%	3,499人	1.5%
	小計：汚水衛生処理人口	229,249人	88.3%	220,346人	88.3%	217,283人	90.1%
	単独処理浄化槽等	2,910人	1.1%	2,845人	1.1%	2,291人	1.0%
	非水洗化人口	27,341人	10.5%	26,302人	10.5%	21,610人	9.0%
	小計：未処理人口	30,251人	11.7%	29,147人	11.7%	23,901人	9.9%
合計：総人口		259,500人	100.0%	249,493人	100.0%	241,184人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	47,386キロリットル		39,815キロリットル		41,995キロリットル	
	浄化槽汚泥量	4,441キロリットル		4,398キロリットル		4,508キロリットル	
	合計	51,827キロリットル		44,213キロリットル		46,503キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	生ごみの減量化として、生ごみ堆肥づくり講習会やダンボールコンポスト・メイト懇話会を開催しているほか、料理教室や出前講座などで生ごみ水切り袋を配布している。また、食品ロス削減の取り組みとして、市内のスーパーマーケットの協力による「てまえどり」運動を実施したほか、市内団体と連携したフードドライブ事業や飲食店を対象に食べ残した料理を持ち帰ることができる「食品ロスゼロ推進店」推奨事業を行っている。
イ. 一般廃棄物の再生利用率に関する事項	資源ごみのより一層の分別の徹底を図るため、市政広報誌、市ウェブサイト、ラジオ、ごみ分別アプリなどを活用し周知・啓発を行っている。 使用済み小型家電については、公共施設等21箇所に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施している。また、古着については、2箇所の拠点回収以外にイベントでの回収のほか、ウェブサイトにて古着の無料回収や買取を行っている業者を掲載し、周知を図っている。そのほか、雑がみについては、ウェブサイトにて回収日や回収方法を掲載し、周知を図るとともに、イベントや出前講座などで雑がみ保管袋を配布している。
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	自転車や家具の再生販売のほか、燃やせないごみや粗大ごみから金属類を回収し再資源化を行っている。
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	ごみ焼却に伴う余熱を利用した発電により、施設内の照明、暖房、給湯、ロードヒーティング等を賅っている。
オ. 処理形態別人口に関する事項	下水道事業計画区域内においては、水洗便所改造等資金貸付制度および排水設備設置資金貸付制度により、水洗化を促進している。また、下水道事業計画区域外においては、合併処理浄化槽設置資金助成制度により、合併処理浄化槽の設置を促進している。
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	合併浄化槽設置資金助成制度について、市政広報誌、ウェブサイトなどを活用し周知・啓発を行い、普及促進を図っている。
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

<p>(一般廃棄物の処理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総排出量は、目標の100,358トンに対して実績が97,043トンとなり、目標を達成することができた。 再生利用量は、目標の19,647トンに対して実績が14,282トンとなり、目標を達成することができなかったが、要因としては、集団資源回収量が減少傾向にあることに加え、資源ごみの排出量も民間事業者の独自の取り組みにより減少傾向になっていることが考えられる。 最終処分量は、目標の15,329トンに対して実績が17,030トンとなり、目標を達成することができなかったが、要因としては、家庭系・事業系の燃やせないごみの排出量が横ばいに推移していることが考えられる。 エネルギー回収量は、目標の12,313MWHに対して実績が12,762MWHとなり、目標を達成することができた。 <p>(生活排水の処理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理形態別人口は、各指標とも減少しているが、構成比の比較では、汚水衛生処理人口の割合が目標の88.3%に対して実績が90.1%となり、生活環境および公衆衛生の向上が図られている。 汲取りし尿量は、目標の39,815キロリットルに対して実績が41,995キロリットルとなり、目標を達成することができなかったが、要因としては、人口減少の影響はあるものの観光入込客数の増加などにより増加しているものと考えられる。 浄化槽汚泥量は、目標の4,398キロリットルに対して実績が4,508キロリットルとなり、目標を達成することができた。

(都道府県知事の所見)

特になし。
